

大活躍の獅子頭  
(新年集会一月九日  
保育園ホール)



# くさばな しんぶん

2019年1月号

197-0802  
東京都あきる野市草花3060  
電話 042-558-3018



理事長・園長 山城清邦

《インフルエンザ休園》  
ことしの冬が異常に乾燥していることが手伝わってか、インフルエンザが大流行。たぶん、私の記憶では初めて休園措置をとりました。学級閉鎖も平成二十五年以来、六年ぶりのことでした。連休明けの一月五日(火)、インフルエンザによる欠席が三〇名ほどになりましたので、嘱託医の先生とも相談の上、翌日から三日間の園全体の休園とし、お仕事の関係には申し訳ないと考えましたが、インフルエンザとはいえず、乳幼児には重篤な症状が出る可能性があります。休園明け(二二日)からは、インフルエンザによる欠席は園全体で二名程度です。ただ、ほとんどがA型罹患です。これからB型が出るかどうか予断を許しません。どうかこれからも、基本的な、手洗い、うがい、そして体調の管理と、マスクの着用を励行してください。

《お正月の行事》  
もう二月になりますが、お正月のことを少し書いてみます。昔のことになりますが、私が子どもの頃は、お祭りやお正月やクリスマスは、待ち遠しくて仕方ないものでした。たとえばお祭りが終わると、来年まで気が遠くなるほど長い時間を感じられ、ガッカリしたものでした。

とくにお正月は、ふだんの服装と違った格好をした親戚のおじさんやおばさん、ご近所の人が見れ、子供心にも違う雰囲気はひたっていました。ラジオからは、尺八とお琴の音楽が流れていました。盲目の演奏者に宮城道雄という方がいて、その作曲になる『春の海』はお正月の番組の定番だったように思います。この作曲者が盲目の方であったことも子供心に驚きとして感じられました。

お正月の子どもの遊びは、まずはどこのご家庭でも羽根つきでした。今はほんとうにすたってしまっただけですが、羽子板と黒い丸い玉のついた羽根はなくてはならないものでした。やがて羽根つきはパドミントンにだんだんと代わってしまいました。家の中では双六(すごろく)もしました。カルタもしましたね。時には百人一首もした記憶があります。コマも廻したり、風揚げにも行きました。

こうした時代にはテレビもありませんでしたから、娯楽はこのようなものしかなかったのです。羽根つきも、カルタも、大人と子どもと一緒に楽しむことができませんでした。こう考えると遊びはいろいろ変化しました。それが良いとも悪いとも言えません。生活様式の変化が背景にあるので、遊びはそれを反映したものとなるざるをえません。

一月九日(水)、お隣の保育園で今年も新年集会有り、幼稚園も参加しました。草花神社のお囃子舞が今年も来てくださり、賑やかなお囃子と「おかめ」や「ひよっこ」の踊り、そして獅子舞を披露してくださいました。お囃子は、いつも思っているが、ジャズのようなものですね。これがどこから来たのかよく分かりませんが、日本の伝統的な歌とは、どうもルーツが違うような気がします。いつも不思議な感覚にとらわれます。この日、お獅子は子どもたちの頭を噛んでまわってくれました。きつとご利益があることでしょう。中には大泣きもありました。それも含めて微笑ましい風景が展開されました。この集會では、羽根つき感とまわしを園児が行いました。「タケちゃん」の超絶技巧に感動して以来、幼稚園ではこまわしが大はやりでした。得意の技が披露されていました。

なお、この獅子舞は、小宮神社の九月の祭りで舞われる獅子舞とは違います。小宮神社の獅子舞は三頭の獅子舞で、お正月には行われません。草花神社のお囃子舞も、小宮神社の獅子舞も、後継者となるべき小学生の参加を呼びかけています。小宮神社の獅子舞は男の子ですが、草花神社のお囃子は、男女を問いません。また、小宮神社の祭礼では赤い袴を身につける「花笠」という四人一組の役があり、これは女の子のお仕事です。

縁あってこの草花地区にお住まいになった方は、お子さんを通じてこうした行事に加わることに、地元の人々と親しくなることができますので、参加をお勧めします。

《まり突きの歌》  
給食の時に流す音楽(週替わりです)は、一月末は、『いちもんめのいちすけさん』という昔の歌をかけた。その歌詞をご紹介します(伝わり方によって多少歌詞が異なる場合があります)。

♪ 一もんめのい(ち)すけさん／一の字が嫌いで／一万一千一百石(い)／一斗(と)一斗(と)  
♪ 二もんめのい(ち)すけさん／二の字が嫌いで／二万二千二百石(い)／二斗(と)二斗(と)  
♪ 三もんめに渡した

こうして歌詞は、次の三もんめから順に八もんめへと続き、  
♪ 九もんめのきゆうすけさん／九の字が嫌いで／九万九千九百石(い)／九斗(と)九斗(と)米の／お札を納めて七もんめに渡した

と続きます。この歌は、まり突きの歌だそうなんです。そういうえば女の子の遊びであったまり突きも見られなくなりましね。子どもの遊びは立派な「文化」のひとつですが、生活様式の変化のためとはいえ、なぜ消えてしまったのでしょうか。子どもたちの遊びの変化、特に昭和二十年の敗戦後と高度成長期以降の変化は日本の歴史にとっても大きなことだと思えます。(一月三十一日記)



## 日々の保育から

主任教諭 影山 幸江

先日の保育参観日には、お忙しい中ご来園いただきありがとうございました。今年度最後の保育参観となりましたが、お子さまの様子はいかがだったでしょうか？もちろん、お家の方に見られていることで普段の幼稚園での様子とは違う様子が見られたお子さまもいましたが、それもお子さまの姿として捉えていただければと思います。また、年度初めのこちらのコーナーで教育要領「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」についてのお話をさせていただきましたが、毎日の活動においても各担任がそうしたことを意識して立案し、参観日には保護者の皆様にご覧になったような活動が展開されていました。今月は、参観日に行われた活動のねらいについて触れながら参観日の様子をお伝えしたいと思います。

### 《かわぐみ》

折り紙で今年の干支である「いのしし」を折りました。各クラスのねらいは、「色々な素材に触れ、作る楽しさを味わう」「完成を楽しみにしながら、制作を楽しむ」となっていました。何種類か用意された折り紙の中から自分で折りたい大きさや色を選び、自分たちのイメージする「いのしし」を作りました。今年1年を通して折り紙の活動を継続的に行っていく中で、折り紙の活動時の約束(説明をよく聞く、一折ごとに担任がチェックしに来るのを待つ など)を理解し、一折り一折り丁寧に進めることができるようになりました。その過程において、それぞれのクラスのねらいは概ね達成できていたようで、一人ひとりが満足する仕上がりとなっていました。

### 《もりぐみ》

1日目は「鬼のお面づくり」2日目は「豆入れづくり」をしました。クラスのねらいは、「鬼の顔の表情が変わることに期待を持ち、意欲を持って取り組む」と、「1枚の折り紙が形になっていく様子を楽しむ」と、各日それぞれ違ったねらいとなっていました。1日目の活動では、参観された保護者の方が多かったこともあって、賑やかな中で進められました。担任の話を聞きながら、自分のイメージする鬼を形にしていって作業でした。完成した作品を見ると、同じ素材を使っているながらも、それぞれオリジナリティーに溢れていて、楽しい作品となっていました。また、2日目の豆入れづくりでも、一折り一折り丁寧に折り進め、平面の画用紙が立体的な箱になることに驚きを感じ、お子さまたちが完成の喜びを味わったり、自分で作れたことに自信を持つことができたのではないかと思います。

### 《やまぐみ》

やま組さんは、2日間に渡ってグループで鬼を描くことをしました。共同活動をする中でどの様なことが育ってほしいのか、就学を間近に控えたお子さまたちにとっては最終段階に入っていますので、就学を意識した内容、ねらいが組まれていました。「自分の気持ちを人に伝える」ことや、「相手の意見を聞く」こと、「皆で作上げることの喜び」など、人との関わりや、「イメージしたものを形にしていこう」と、「これまで使ってきた様々な素材の扱い方」など、一つの活動に対し、いろいろな方面からねらいを考え、活動が展開されていました。完成した鬼の絵は、どの絵もお子さまたちの一生懸命さが伝わるものとなっていました。

ここまで、ねらいを持って…としつこいくらいに言ってきましたが、これらはあくまでもお子さまたちに強制しているものではなく、課題を進める中で自然に身につけていく(ついていくであろう)ことであり、3歳、4歳から培ってきた成長の段階が、年長さんのこの時期に少しでも「10の姿」に近づいているようにと考えております。今年度も残りわずかとなってきましたが、各学年とも、次年度に向けての最終段階に入っています。残りの1日1日を大切にお子さまたちの成長のお手伝いをしていきたいと考えておりますので、保護者の皆さまにも引き続きのご協力をお願いいたします。

## 保護者会だより

2019年、新しい年を迎えました。平成が終わり、今年は何んな元号に変わるのか気になりますね(笑)。役員一同、今年も宜しくお願い致します。

1月は、幼稚園の心とも言える影山先生、いつも支えてくださっている事務の田中先生、フレッシュな山城俊介先生にインタビューをお願いしました。

Q、幼稚園の先生になったきっかけは？

影山先生♡ 元々は、小学校の先生を目指してましたが、幼児と触れ合う中で、幼児の会話や言動があまりにも可愛かった為、進路変更し、現在に至ったそうです。

田中先生♡ 「どこかで聞いた話ですが…私も拾われました。」と、おっしゃっていました。

Q、プライベートな事ですが、家ではどんなママさん？パパさん？ですか。

影山先生♡ 平日は、旦那様がお仕事でお忙しくしている為、父・母親役を両方しています。ですから、子供達にとって「怒ると最強に怖いお母様」のようです。???

田中先生♡ 宿題やりなさい。片付けなさい。早く寝なさい。など口うるさい父親です。!!…((笑))

Q、今回は、12月よりご勤務されました山城先生の自己紹介です!!

俊介先生♡ 8月30日生まれの32歳、AB型、ご趣味はドライブ。

園児たちと打ち解けられるようにと、毎日各クラスを周り、子供達と楽しくお給食をご一緒させて頂いております。保護者の皆様もご気軽にお声を掛けて下さい。今後とも宜しくお願いします。

影山先生、田中先生、山城俊介先生、お忙しい中インタビューのご協力ありがとうございました。さて、前月号おたよりでもお知らせしましたが、2月19日に子ども会の歌の練習があります。各自、歌の練習をして来て下さい。たくさんの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。♡子供達にとって楽しい思い出となりますように♡

担当: もり組 池田 堀 山下